

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 全学教育推進機構

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 プレ FD プログラムとしての大学院生向け教育プログラム 3 科目を開講している大学は全国では他になく、最も体系的な教育プログラムとなっている。 教職員向けの FD プログラムも国内大学の中でも最高数を提供していることが評価できる。
【研究】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 MOOC 受講者が、2015 年度末から約 18500 名増加し、40170 名に達した。 延べ 174 の国と地域から登録があり、アフリカ・中南米を中心に、阪大が留学生を受け入れていない国からも多くの受講登録があり、教育コンテンツのグローバル展開にも寄与していることが評価できる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。